



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
保健管理	応急処置		けがや疾病に応じた応急処置を迅速に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、応急処置を的確に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、教職員等への周知と啓発を行うことができる。	救急体制の整備と教職員等への啓発について、指導的立場を果たすことができる。
	心身の健康管理	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。	児童生徒等の心身の健康管理や感染症の予防対策について、指導的立場を果たすことができる。
	学校環境の管理		学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	児童生徒理解		児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高めることを意図した指導を行うことができる。	児童生徒理解について、指導的立場を果たすことができる。
	保健教育	児童生徒の体と心の状態を把握しようとする努力をしている。	指導計画に基づく保健教育等を行うことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行うことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくろうとする指導を行うことができる。	保健教育について、指導的立場を果たすことができる。
	健康相談活動		健康相談の基本プロセスを理解し、健康相談が実施できる。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	保健室管理		学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	学校の教育目標の具現を意図した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。
	保健組織活動	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいる。	保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参画できる。	保健組織活動の意義を理解し、保健組織活動を企画・運営することができる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を、企画・運営することができる。	保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
	危機管理		管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

- ・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



- ・自分が得意な内容、領域を磨いている。
- ・他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。

- ・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
- ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

- ・若手や同僚に共感する。
- ・自分の知恵や経験を活かす場がある。



教員が成長し続けるために大切な姿